

若冲の絵とその名が暗示すること

若冲というこの不思議な号は中国の古典「老子」の一節に由来するという。**大盈たいえいは冲むなしきが若とし、其その用は窮きわまらず**。大きく満ちているものは何もないように見えるが、その働きは無限であるといった意味だ。

それを知ったあとであらためて若冲の絵を見るとどうだろう。小魚の群れは中空を軽やかに泳ぎ、アサガオのつるは周縁を取り巻くが中央には大きな余白がある。そう。彼の絵には空疎な抜けがある。しかし、そのあいだには、世界を支える働きがある。つまり、若冲の絵とその名が暗示することは、**何もないところにこそ意味がある**という真実なのだ。＜「福岡伸一の動的平衡 49」（朝日新聞 16.11.3）より＞

～全文は、<http://digital.asahi.com/articles/DA3S12639854.html> をクリック～

＜この文書は、「そうだったのか」（下記URLをクリック）に掲載されているものです。＞

<http://fileshelf.cocolog-nifty.com/blog/2013/06/post-febb.html>